

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

特 集

将来を見据えた、計画性のあるクラブ運営

〔菊川スポーツクラブ〕

1 市町合併を機にクラブ設立！

「菊川スポーツクラブ（以下、クラブ）」は、平成17年2月に下関市と合併した菊川町のスポーツ環境を残そうと、5月に準備委員会を立ち上げ、スポーツ少年団を母体に設立されました。スポーツによる地域・健康・人づくりを目指し、平成19年4月より菊川地区の体育施設の指定管理を行いながら、14のジュニア団体活動と20のクラブ教室、20の年間イベント事業を行っています。平成24年度に指定管理施設内のプールが改修され、2歳～5歳までの体育教室はプールと体育館を並行して行う年間プログラムとなっています。

2 クラブの会費収入で運営できるクラブを目指して

クラブでは、教室運営による会費収入で運営できるクラブを目指してスポーツ振興くじ（toto）助成金を活用しました。5年間（平成20～24年度）のtoto助成金受託期間の間、常に考えていたことは、toto助成金は新規教室立ち上げに必要なスポーツ用具の購入に充て、クラブマネジャーの賃金などの人件費は最低限に抑えた方が良いということでした。またtoto助成金は限られた期間した受けることができないことも意識して助成金を使ってきました。

クラブとして開設した最初の教室は、設立1年目（平成19年）にシニア層のスポーツ環境が整っていないことから始めた「シニア体力アップステーション事業」でした。この事業を皮切りとしてtoto助成1年目〔総合型地域スポーツクラブ活動支援事業〕（平成20年度）には、同年に始まる下関海響マラソン完走プロジェクトとしてジョギング教室を開設し、toto助成2年目〔同活動支援事業〕（平成21年度）には、ピラティスを開設して、全3教室に増やしました。

toto助成3年目〔同自立支援事業〕（平成22年度）からは、toto助成金を受けている間にクラブの周知を図るために、比較的経費のかかるイベント事業を実施しようと考えました。全国第一線で戦っている選手に来ていただき指導交流会という事業として、子どもたちと一緒に野球、サッカー、バレーボールを行いました。

同事業4年目（平成23年度）は、会員から昼間も卓球をしたいとの声が上がり、toto助成金で卓球台を3台購入し、卓球教室を開設しました。現在ではtoto助成金を通じて6台の卓球台を揃えることができ、開催日も週3回となつたことから、多くの会員が満足しています。

同事業5年目（平成24年度）は、老朽化していたプールの改修が終ったため、プール教室を開催しました。それに伴う備品をtoto助成金で揃えることができ、大人の水中ウォーキングとアクアビクス、小学校低学年と高学年

ジョギング教室



プール教室



の水泳教室、2歳児から5歳児までの体育教室で、プールを使用しています。

以上、5年間のtoto助成期間の間に教室数は5～20に増えました。また、各教室にかかる指導者謝金については、各教室の会費収入に応じてお願いしており、会場も多くは指定管理施設での使用のため50%減免となります。さらには各教室での会費収入からクラブマネジャー賃金の一部を補えるほどになりました。

3 今後の展望

平成25年度は、市の健康づくり事業に申し込みましたが、法人格をとっていない任意の団体であるため、受けることができませんでした。そのような事情もあり、平成25年度はクラブを一步前進させるために、クラブの法人化に力を入れていきます。法人形態をNPO法人、財団法人、社団法人のいずれにするのかは現在検討中ですが、平成25年度中に組織づくりをして、クラブにもっと力をつけたいと考えています。まずは会員数について地域人口の1割である800人を目指し、地域の健康づくりの核となり、行政と連携して事業を行い、若い人材を雇用できるようなクラブにしたいと思います。

(菊川スポーツクラブ クラブマネジャー 井上 登代子)

クラブプロフィール

設立年月日：平成18年10月1日

地 域：山口県下関市菊川町下関東部地域

運 営：会員数 602名(平成25年3月現在) 予算規模 約2,000万円(平成25年度)

特 徴：指定管理を受けながら、幼児～高齢者までの教室に力を入れている。

連 絡 先：〒750-0317 山口県下関市菊川町下岡枝61-1

下関市菊川運動公園内

TEL：083-287-2820 FAX：083-287-3000

E-Mail kikukawa-sc@cyber.ne.jp